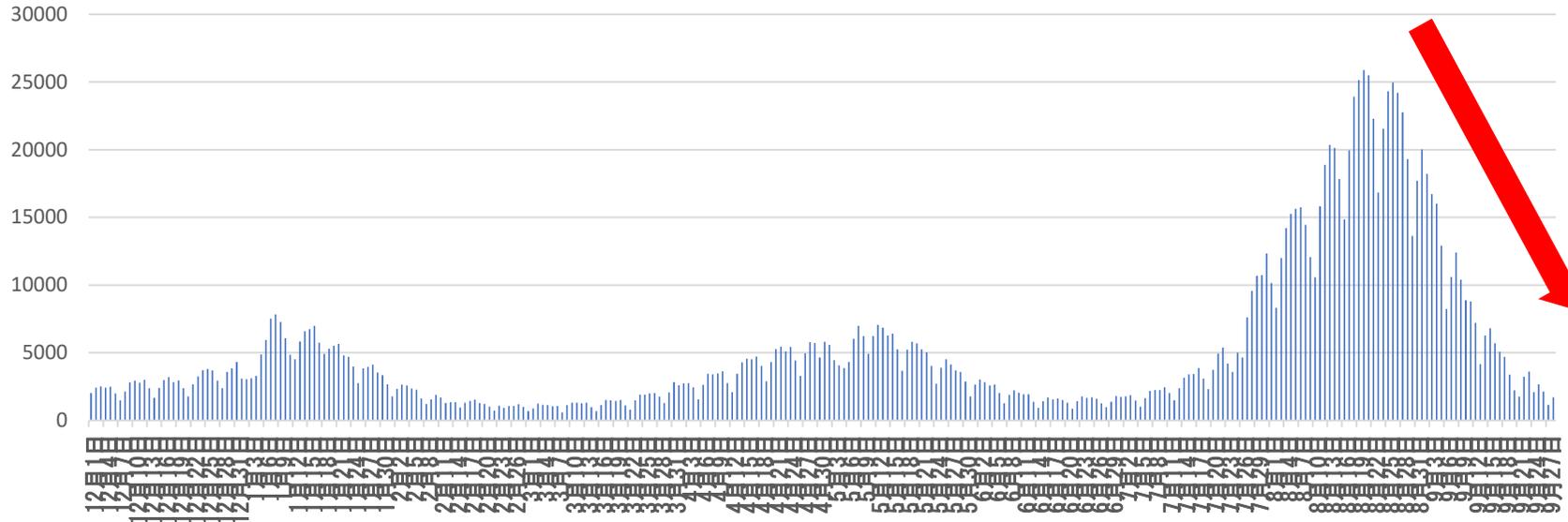


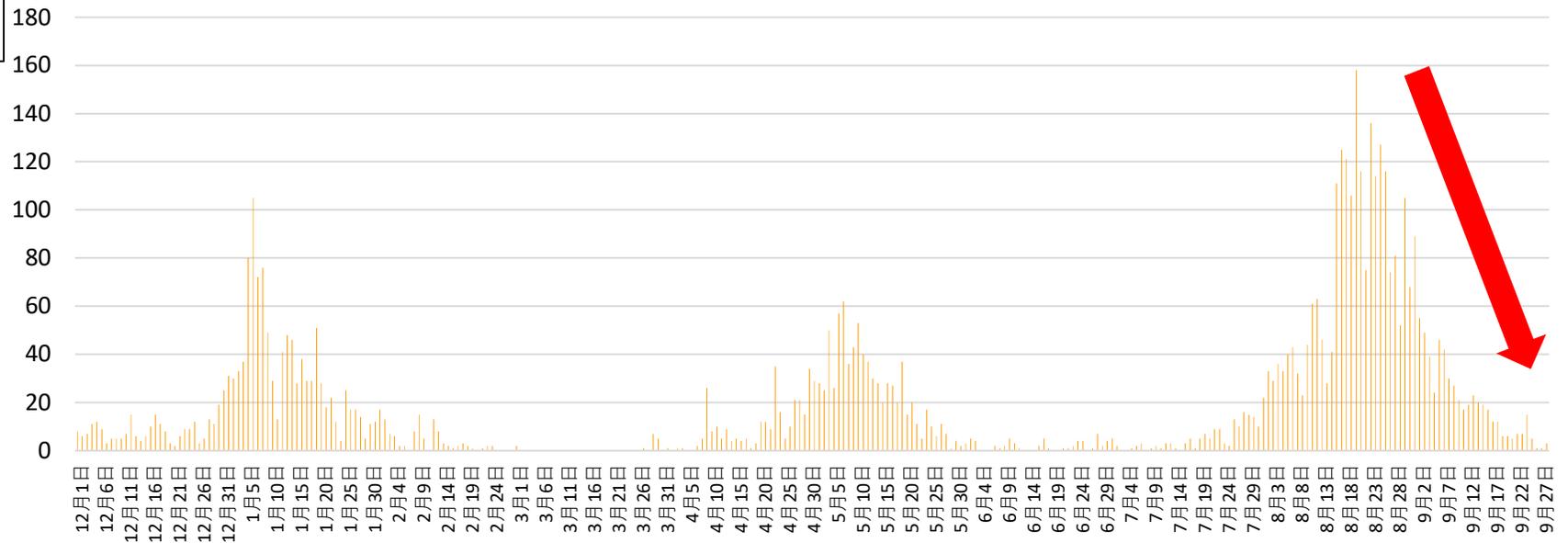
# 全国と県内の感染状況

資料 1

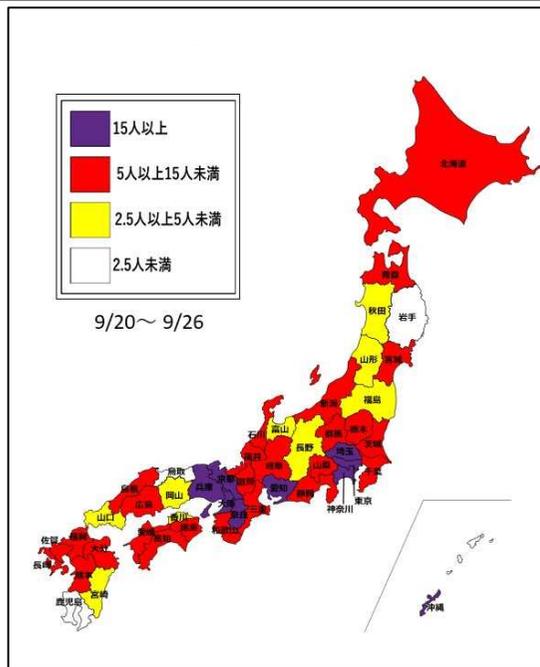
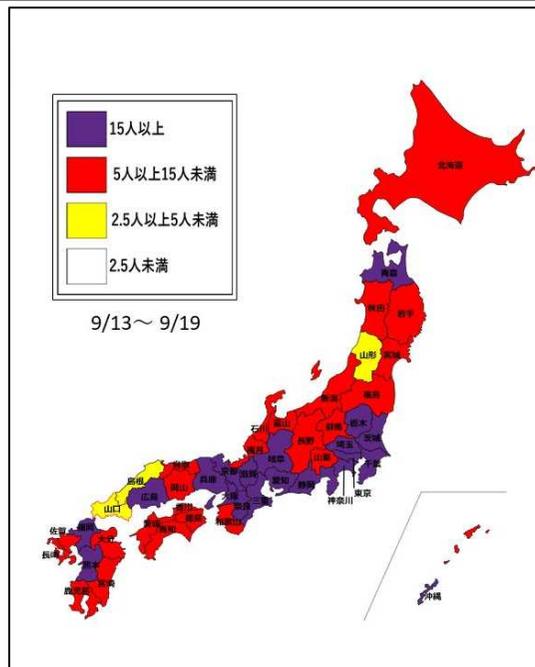
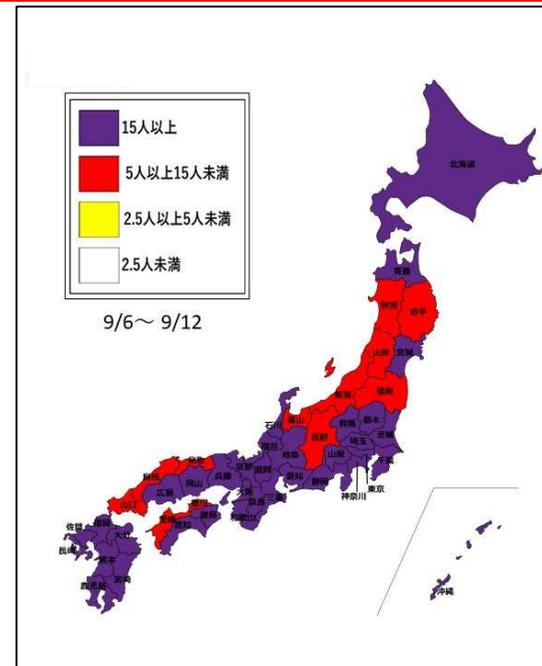
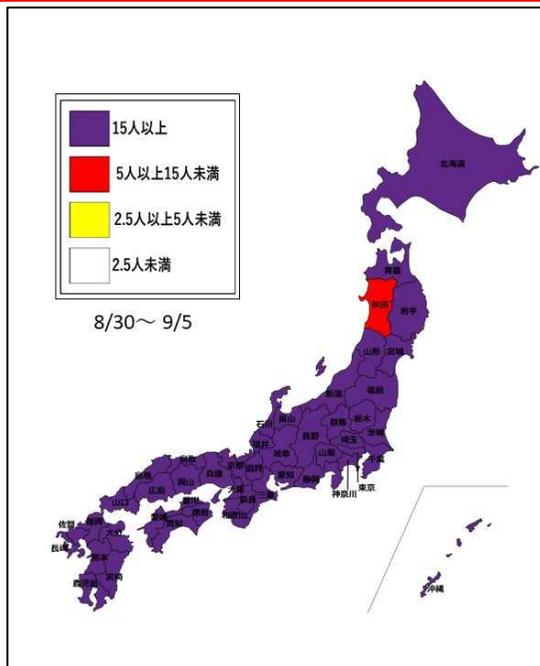
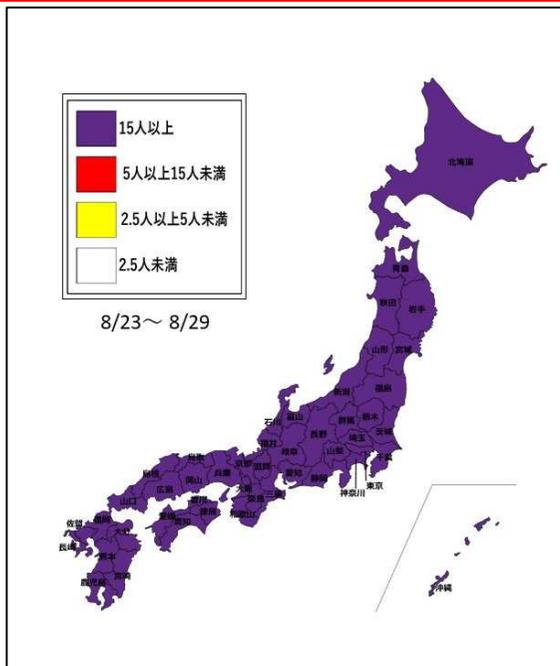
全国



宮崎県



# 全国の直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数

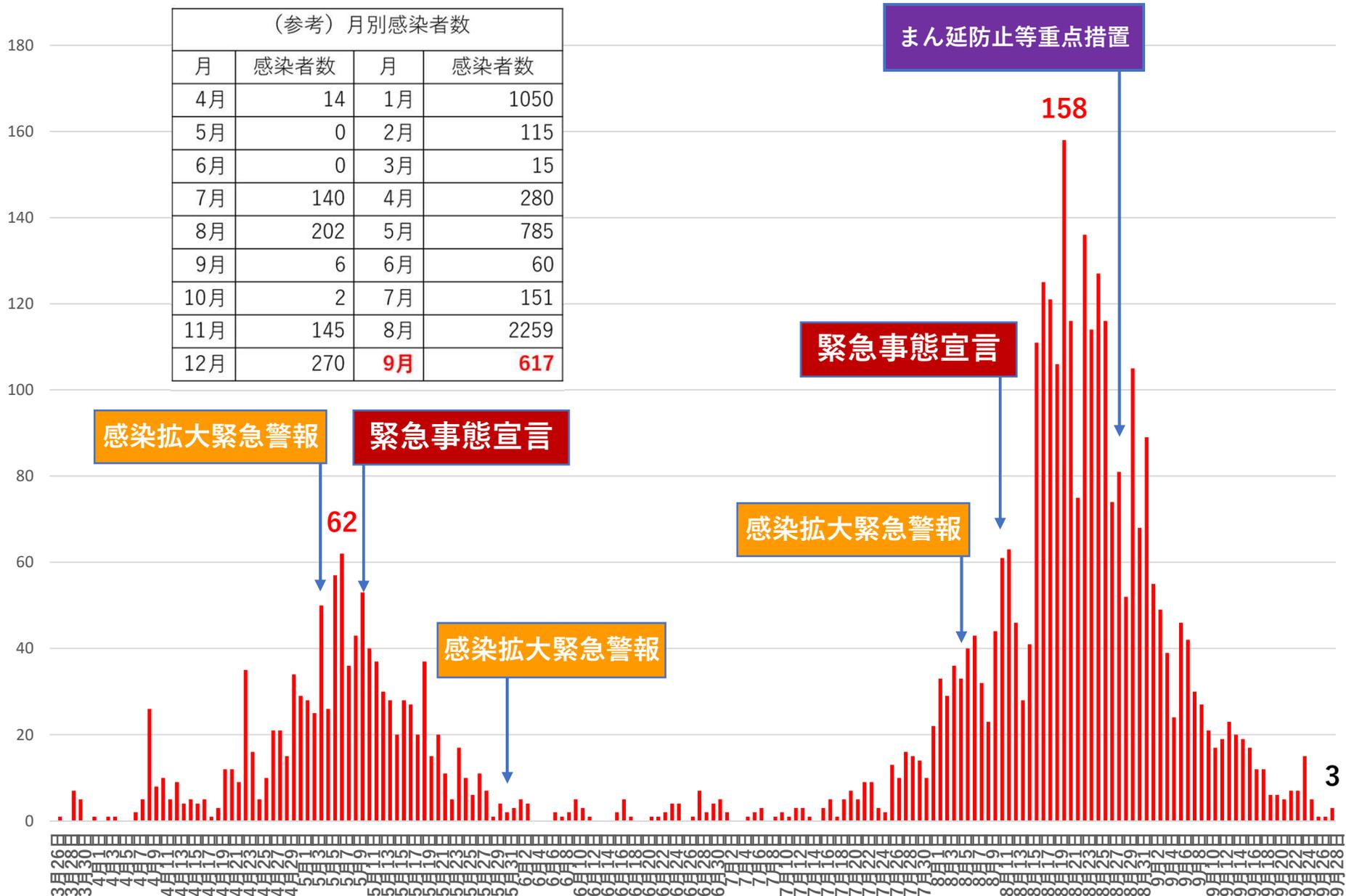


全国的に感染者が  
急速に減少

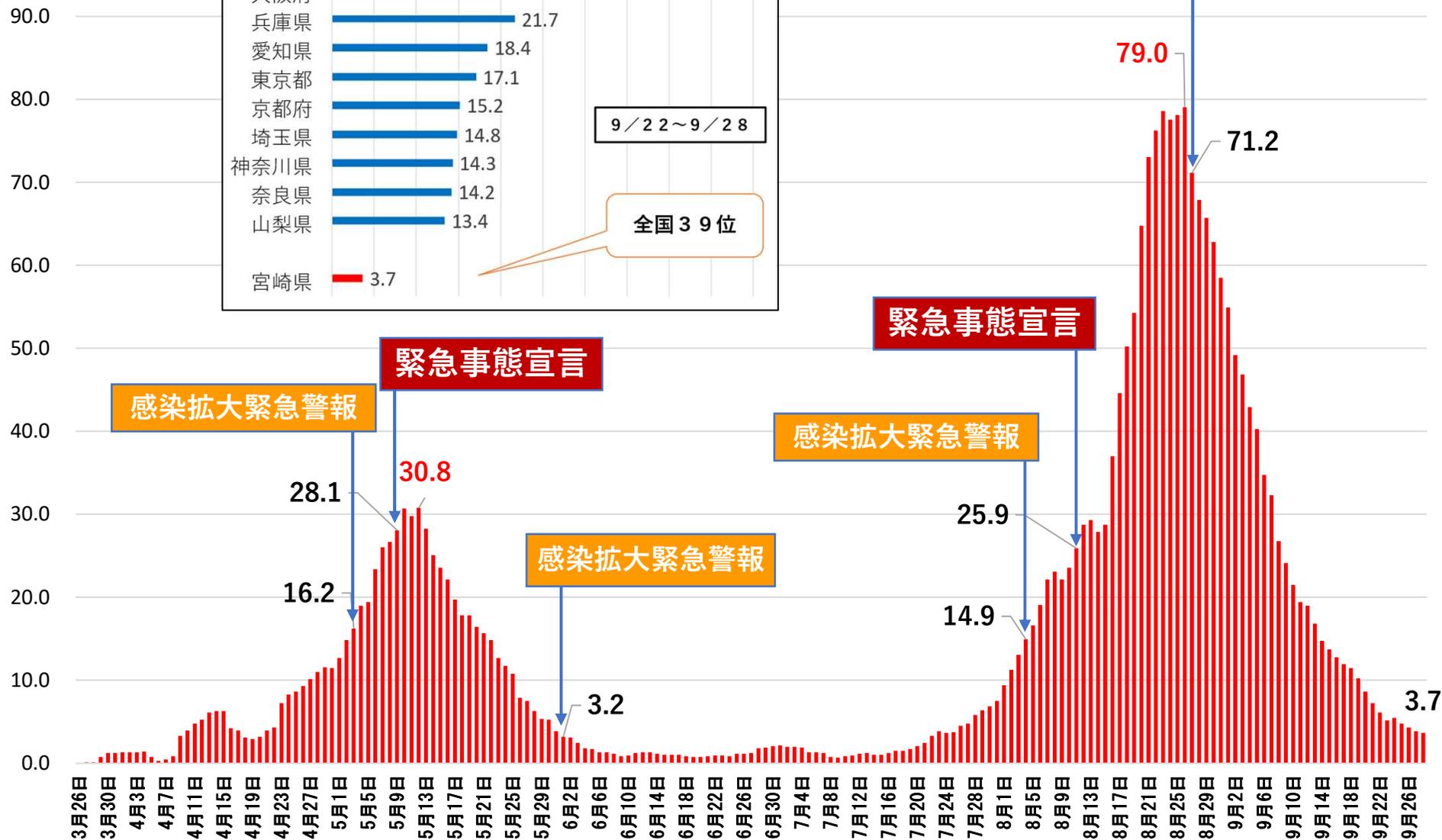
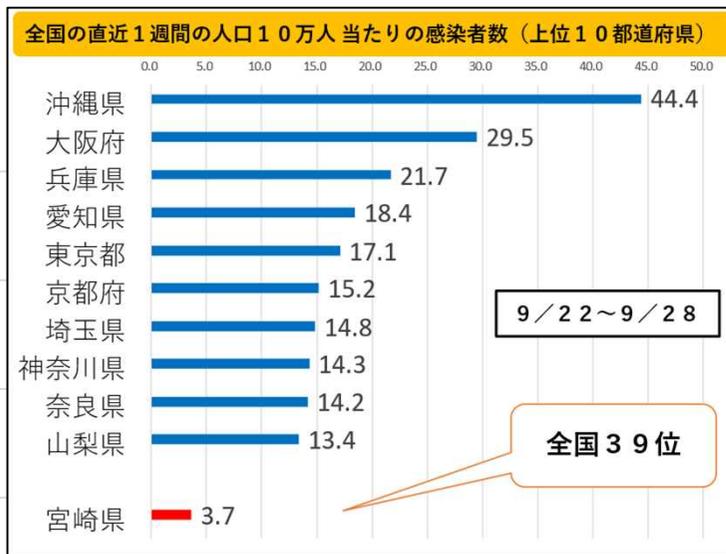
# 本県の1日当たりの新規感染者数

(参考) 月別感染者数

月	感染者数	月	感染者数
4月	14	1月	1050
5月	0	2月	115
6月	0	3月	15
7月	140	4月	280
8月	202	5月	785
9月	6	6月	60
10月	2	7月	151
11月	145	8月	2259
12月	270	9月	617

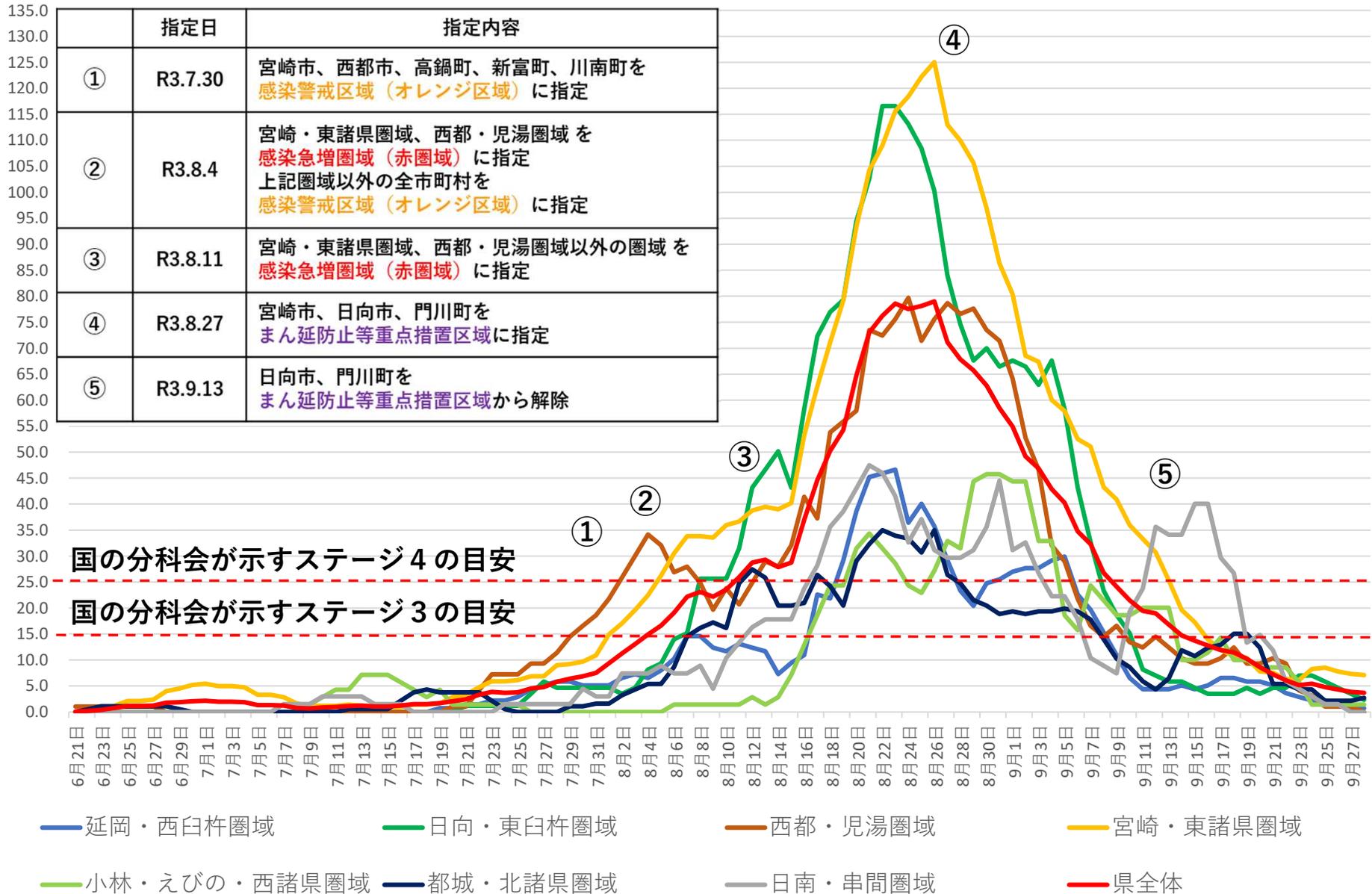


# 本県の直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数



# 各圏域の感染状況

(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数の推移)



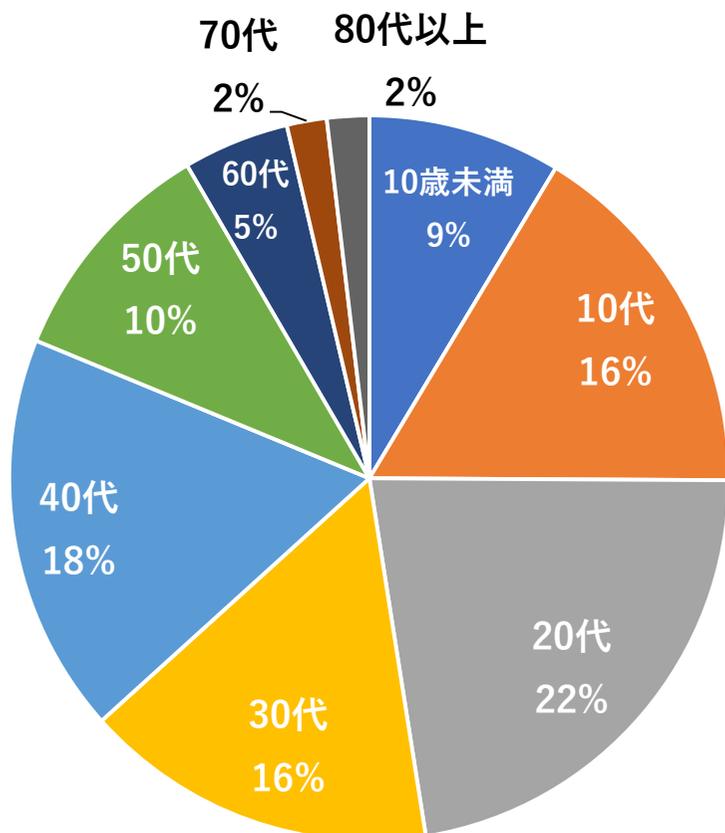
## 第5波の感染状況の概要（第3、4波との比較）

	第3波	第4波	第5波
期間	113日(11/15～3/7)	86日(3/27～6/20)	100日(6/21～9/28)
総感染者数	1,576人	1,112人	3,053人
1日当たりの新規感染者数（最大）	105人(1/6)	62人(5/7)	158人(8/20)
直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数（最大）	42.4人(1/9)	30.8人(5/12)	79.0人(8/26)
直近1週間の人口10万人当たりの全療養者数（最大）	50.3人(1/10)	45.0人(5/12)	115.7人(8/27)
クラスターの発生数	22件	25件	48件
死者数（致死率）	21人(1.3%)	5人(0.4%)	14人(0.5%)
重症者数（重症者率）	24人(1.5%)	20人(1.7%)	21人(0.7%)
1日当たりの入院者数（最大）	102人(1/13)	84人(5/16,17)	155人(8/30)
1日当たりの宿泊施設療養者数（最大）	118人(1/7)	116人(5/12)	194人(8/24)
1日当たりの施設（高齢者施設等）療養者数（最大）	24人(1/20～22)	32人(4/28～5/3)	10人(8/21～23)
1日当たりの自宅療養者数（最大）	258人(1/10)	221人(5/13)	800人(8/27)

※第5波の数値は9月28日時点 **6**

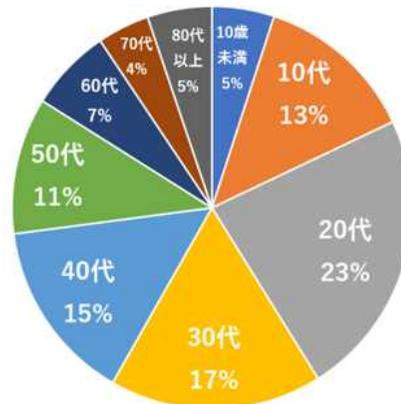
# 感染者の年代別内訳

第5波 (3053人)

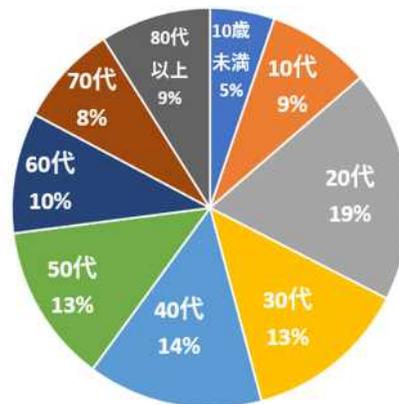


※6/21~9/28

第4波 (1112人)



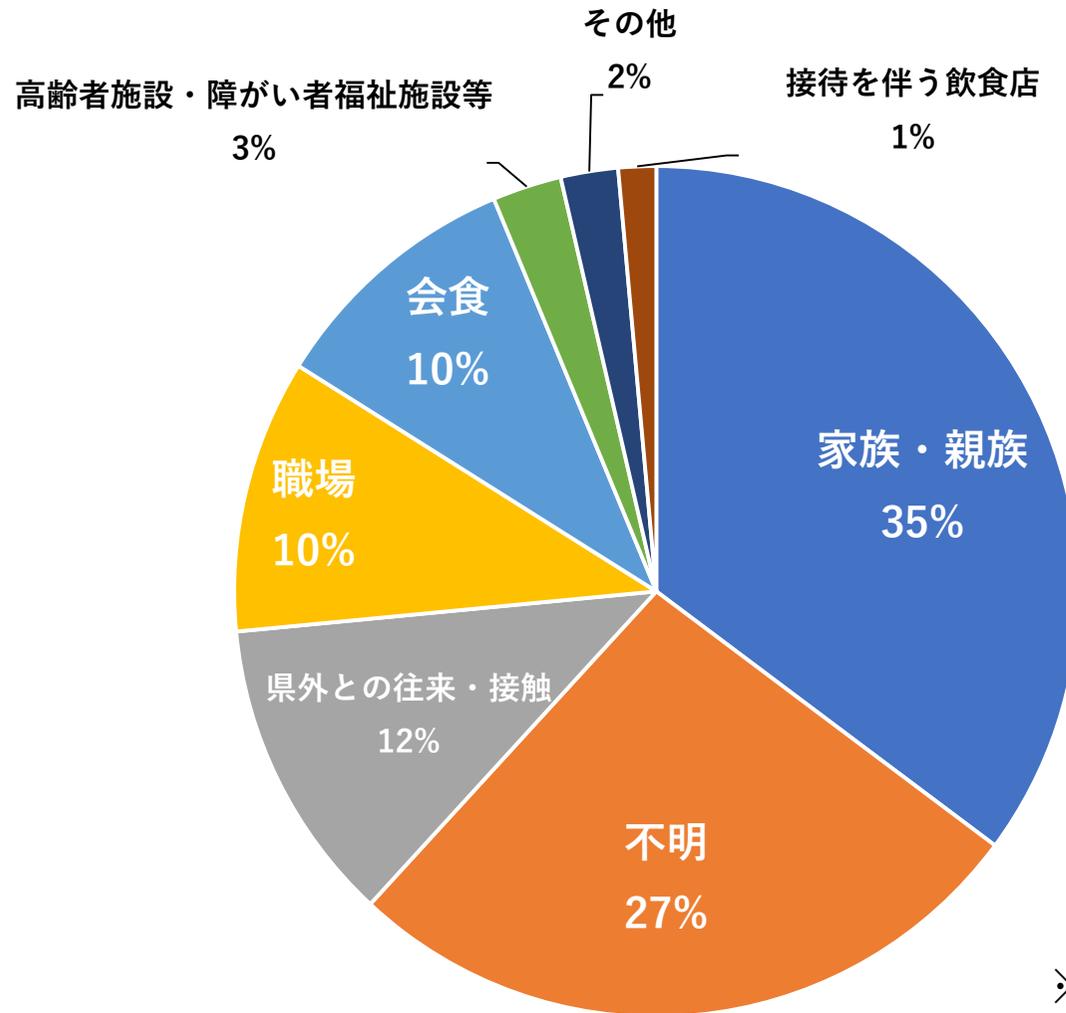
第3波 (1576人)



	第3波	第4波	第5波
10歳未満	5%	5%	9%
10代	9%	13%	16%
20代	19%	23%	22%
30代	13%	17%	16%
40代	14%	15%	18%
50代	13%	11%	10%
60代	10%	7%	5%
70代	8%	4%	2%
80代以上	9%	5%	2%

○第5波では、第4波と比較しても更に若年層の割合が高くなっており、40代までで全体の8割以上を占めている

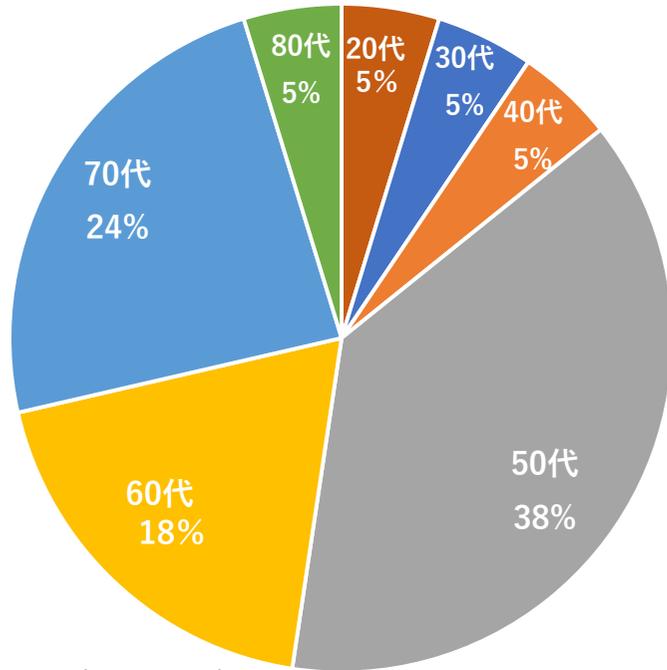
# 発生機会別の感染割合



- 家族・親族間の感染が最も多く、第5波の感染の3分の1を占めている
- 県外との往来・接触や職場等での感染が家庭に持ち込まれ、感染力の強いデルタ株の影響により、家族全員や親族に至るまで感染が拡大したケースが多数発生

# 重症者の状況

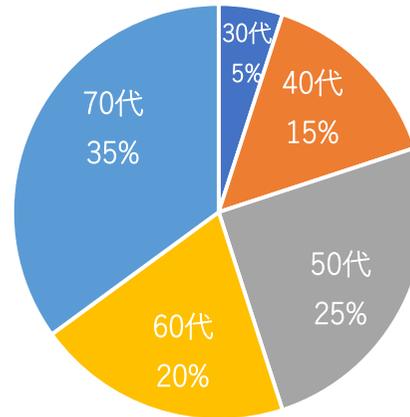
第5波（21人）



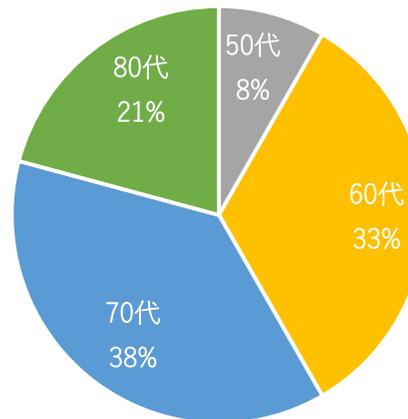
※6/21～9/28

【第5波における基礎疾患の事例】  
 高血圧(10)、糖尿病(4)、心疾患(2)など  
 ※ ( ) は人数、重複あり

第4波（20人）



第3波（24人）

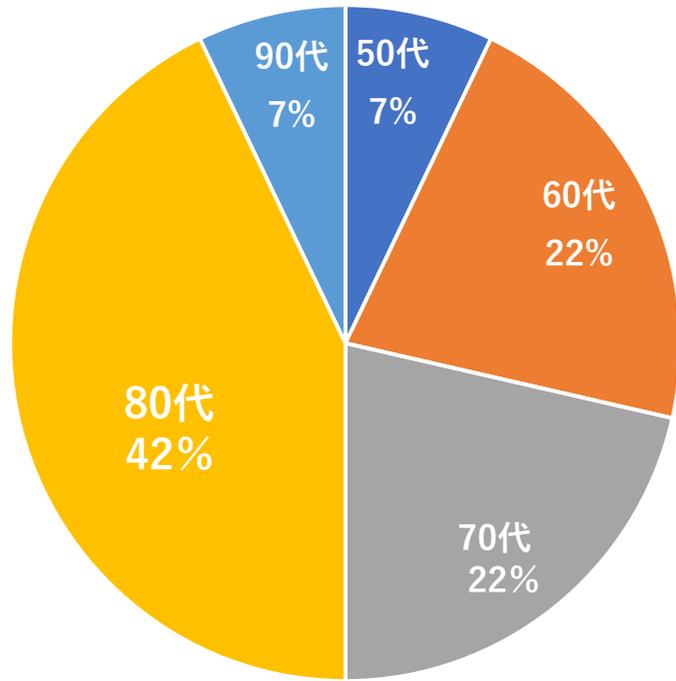


	第3波	第4波	第5波
20代	—	—	5%
30代	—	5%	5%
40代	—	15%	5%
50代	8%	25%	38%
60代	33%	20%	18%
70代	38%	35%	24%
80代以上	21%	—	5%

○第5波では、60代以上の重症者が減少する一方で、50代が増加し、20代での重症者も確認されている

# 死者の状況

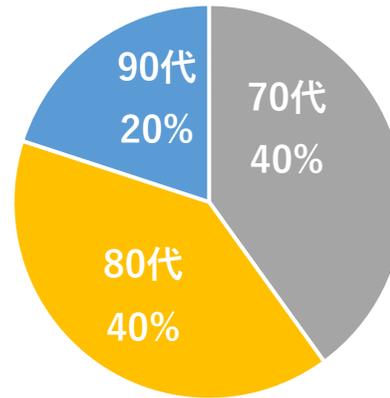
第5波（14人）



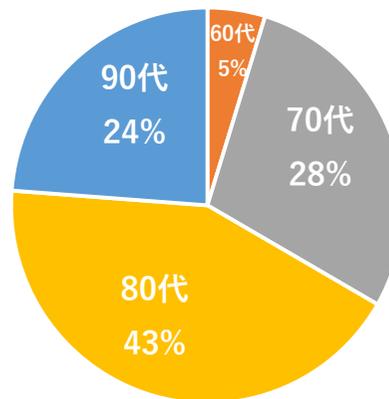
※6/21～9/28

【第5波における基礎疾患の事例】  
 高血圧(5)、心疾患(3)、呼吸器疾患(2)など  
 ※（ ）は人数、重複あり

第4波（5人）



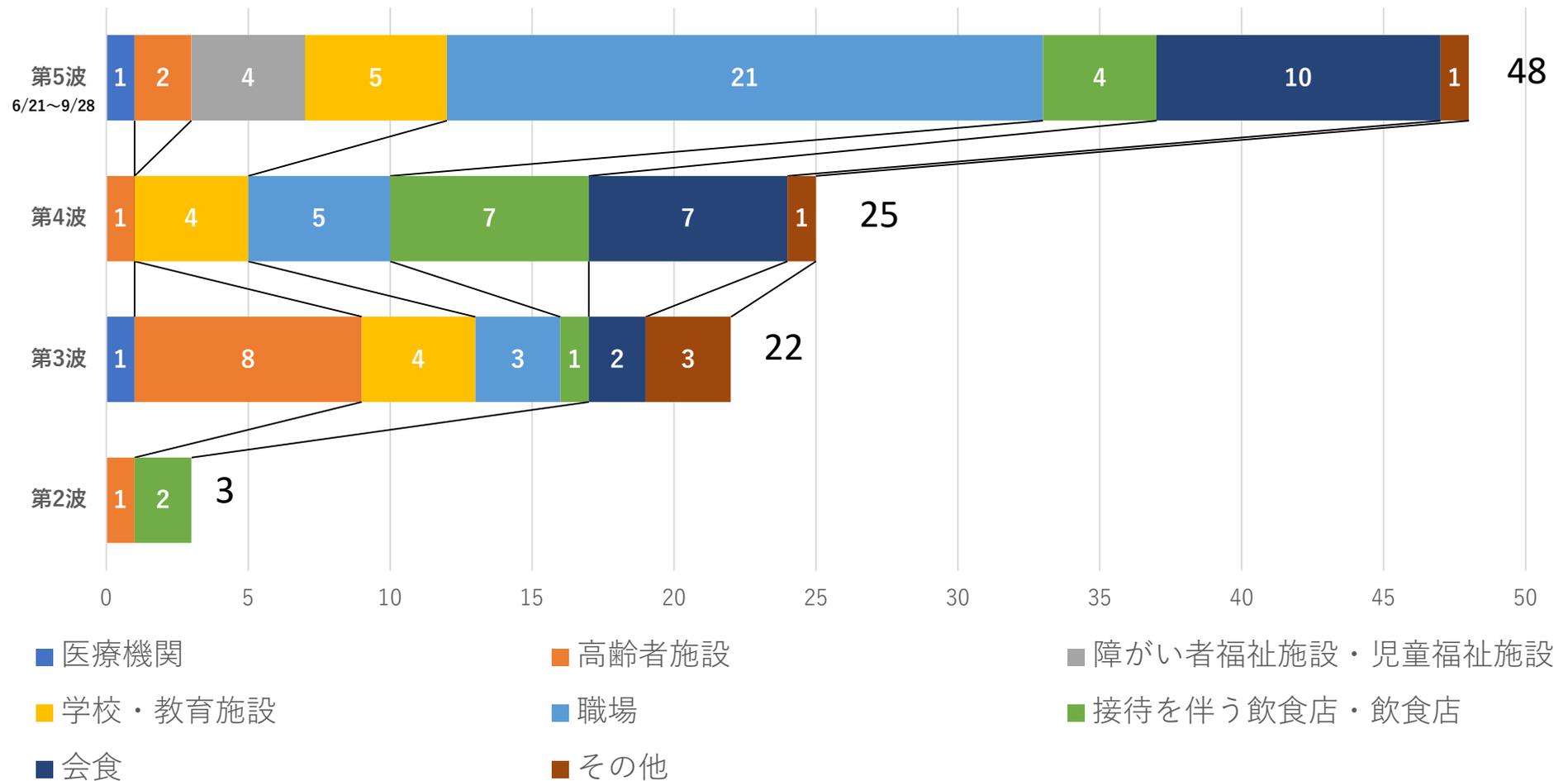
第3波（21人）



	第3波	第4波	第5波
50代	—	—	7%
60代	5%	—	22%
70代	28%	40%	22%
80代	43%	40%	42%
90代	24%	20%	7%

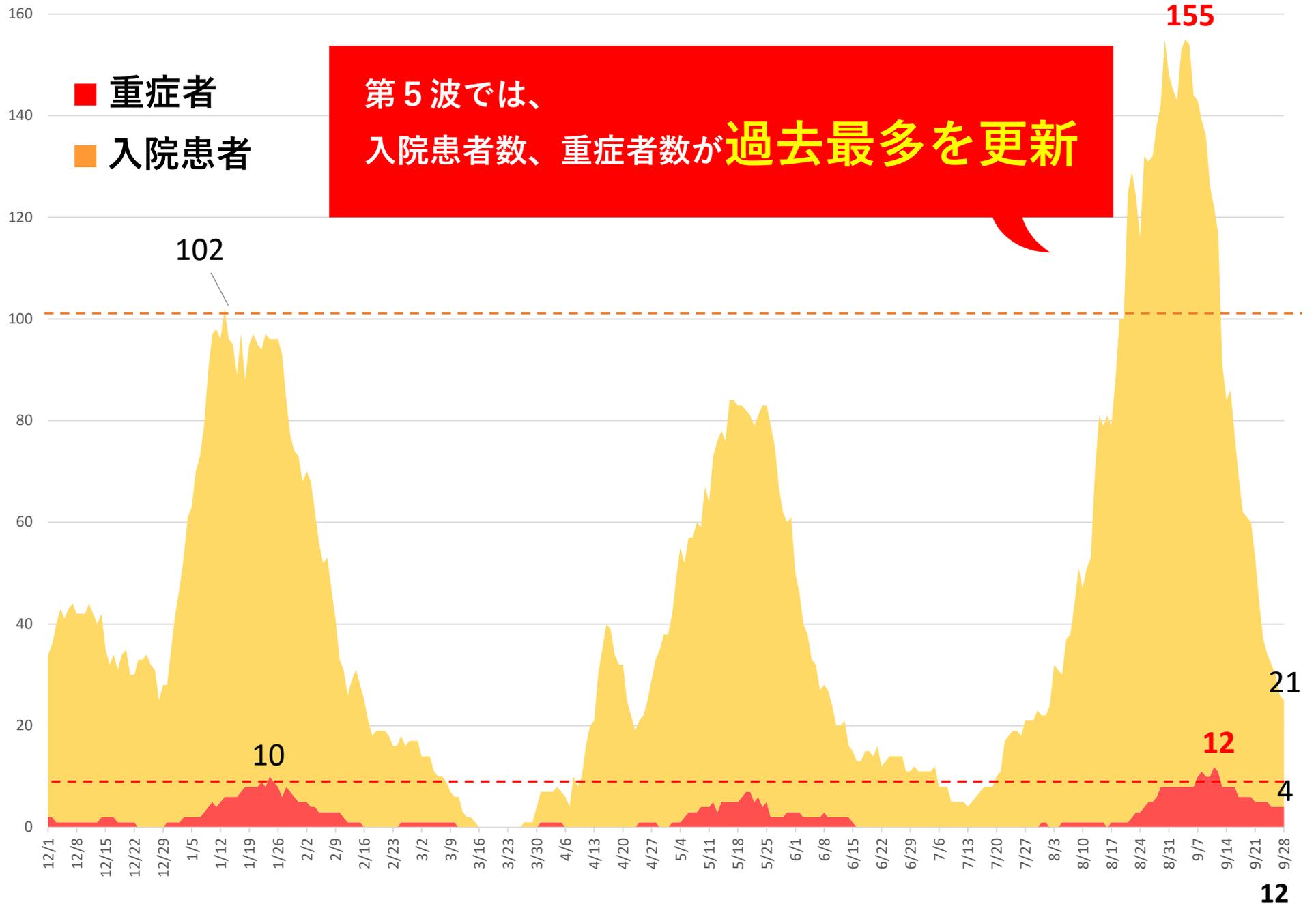
- 第5波では、90代以上の死者が減少する一方で、60代が増加し、50代での死者も確認されている
- 基礎疾患が確認されていない患者の死亡も確認されている

# クラスターの発生状況



- 第5波では、第4波の約2倍のクラスターが発生し、職場でのクラスターが全体の4割以上を占めている
- 第4波と比較して、接待を伴う飲食店・飲食店での発生は少なく、高齢者施設での発生も第4波と同様に少なくなっている

# 入院患者・重症者の推移



# 医療提供体制強化の取組

## ■入院受入体制

- ・入院受入病床42床増加（285床→327床）

## ■宿泊療養体制

- ・1施設（150床）を新設（300室→450室）
- ・DMAT医師の派遣
- ・酸素濃縮器の配備
- ・外来診療受入体制の確保
- ・重症化予防センターの設置（抗体カクテル療法等を実施）

## ■自宅療養体制

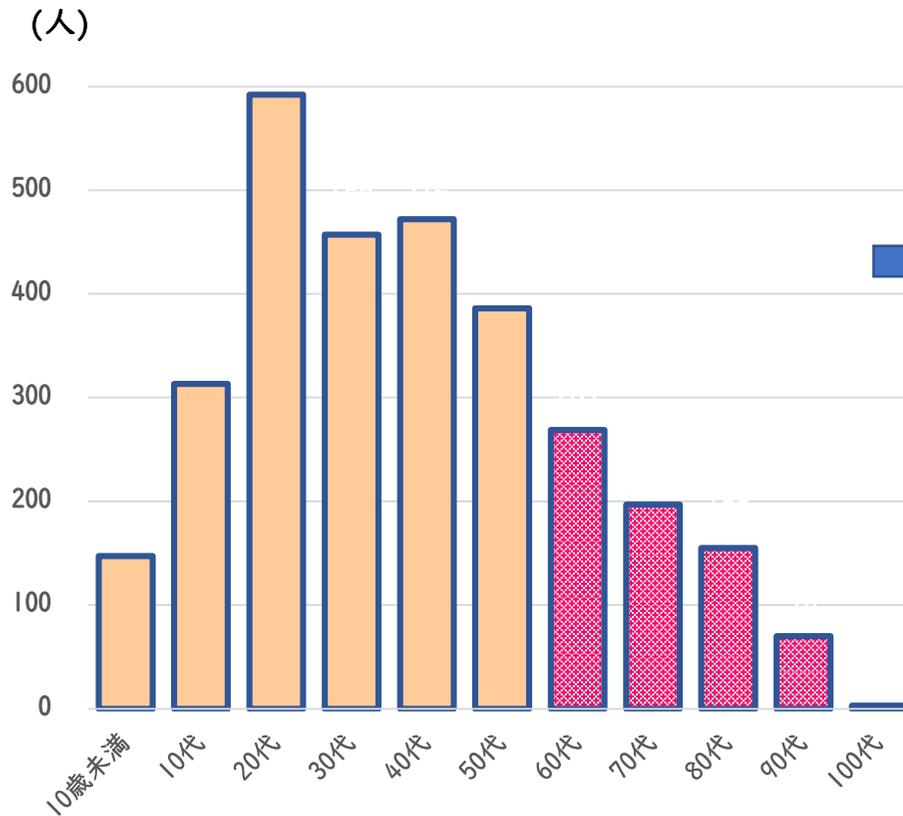
- ・パルスオキシメーターの配布
- ・食料・生活用品等の支援セットの配布（5/27以降、835個を配送）
- ・医師・看護師による健康観察体制の確保  
（高千穂保健所を除く8保健所で実施、訪問看護ステーション43施設が事業に登録）
- ・外来診療受入体制の確保
- ・重症化予防センターの設置（抗体カクテル療法等を実施）

### 【入院調整の方針】

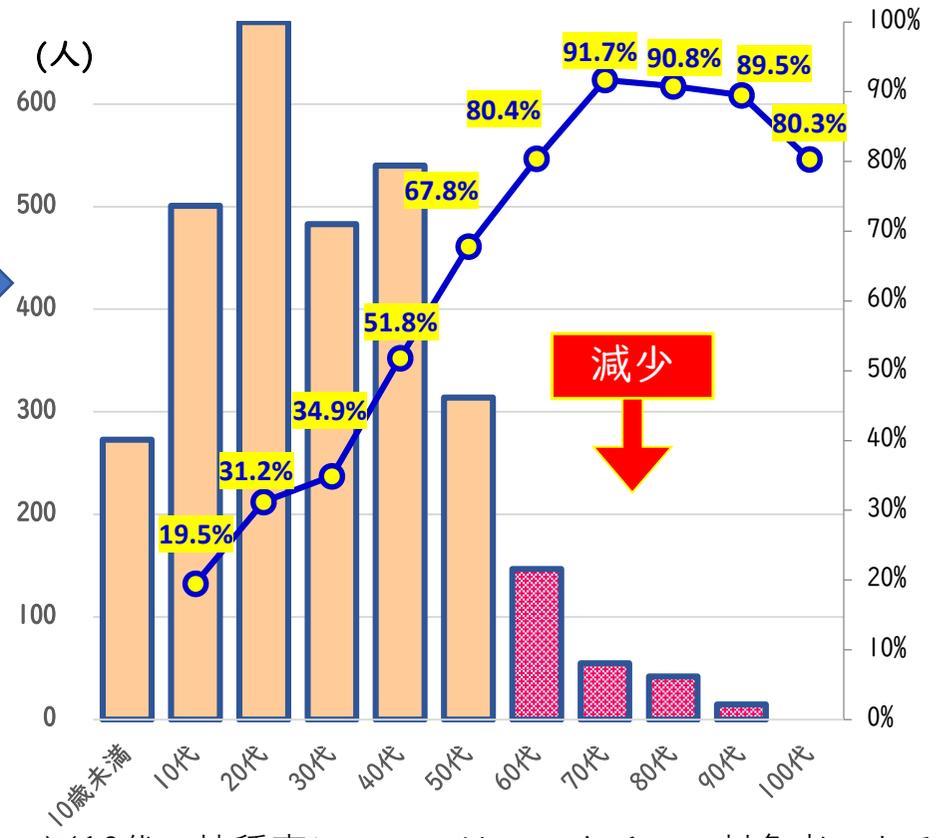
- ①重症化リスクを総合的に判断し、医師が入院が必要と判断された方は入院
- ②ただちに入院が必要でないとは判断された方は自宅療養を基本とし、健康管理の必要がある方、家庭内感染の恐れや独居で生活上の不安がある方など自宅療養ができない事情等がある方は宿泊施設療養

# 年代別感染者数とコロナワクチンの接種状況

年代別感染者数（第4波まで）



第5波における感染者数と接種率（2回目）

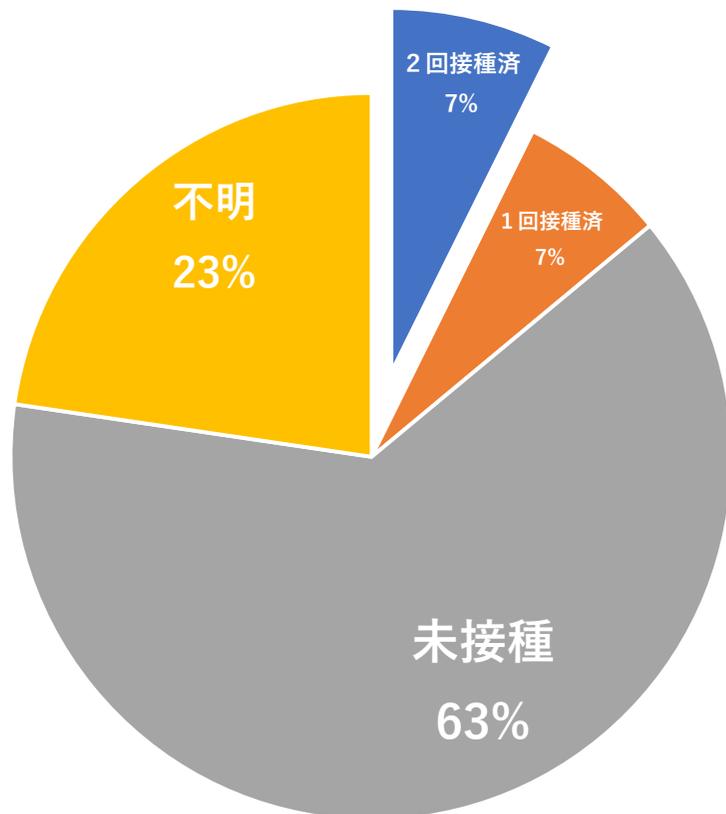


※10代の接種率については、ワクチンの対象者である12歳以上で算定している

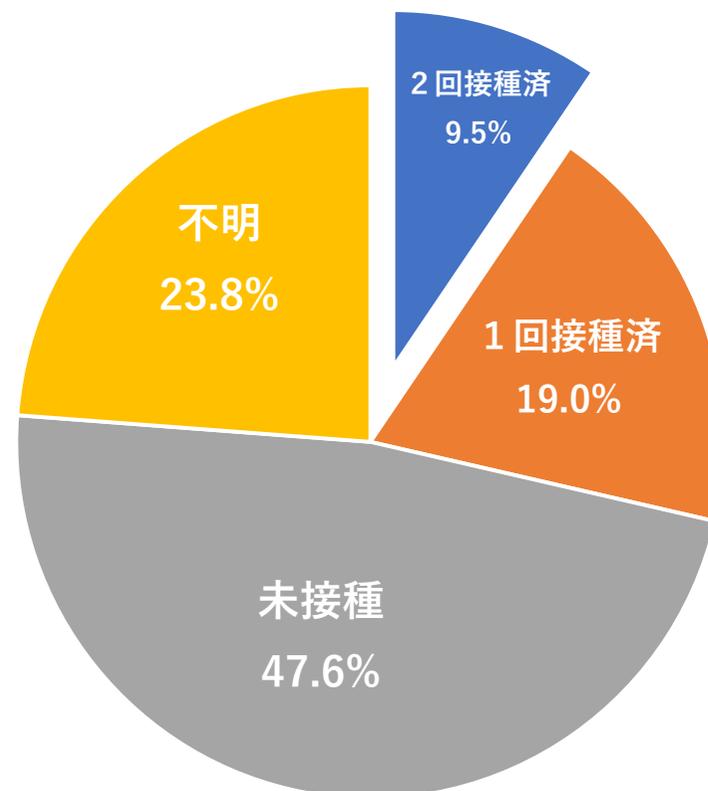
○第5波では、第4波までと比較して、ワクチン接種の進んでいる60代以上の感染者が大きく減少している。

## 感染者・重症者のワクチン接種状況

感染者全体 (3,053人)



重症者 (21人)



※6/21~9/28

○感染者全体及び重症者に占める2回接種の方の割合は10%以下と少なくなっている

# 国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が示す指標における本県の状況

本県の関連指標の状況は以下のとおりであり、**ステージ2**の状況にあります。

指 標		現状値	ステージ3 の目安	ステージ4 の目安	備 考
医療提供体制等の 負荷	病床全体 (確保病床の使用率)	6.3%	20%以上	50%以上	・9月28日時点
	①医療の ひっ迫具合 入院率※ (療養者数に対する入院者数 の割合)	—	40%以下	25%以下	・9月28日時点 ・療養者数：入院者、宿泊・ 施設等療養者、入院・療養調 整中の方等を合わせた数
	重症者用病床 (確保病床の使用率)	12.1%	20%以上	50%以上	・9月28日時点
②療養者数 (人口10万人当たりの療養者数)		5.6人	20人以上	30人以上	・9月28日時点
感染の 状況	③PCR等陽性率	2.9%	5%以上	10%以上	・9月16日から9月22日まで ・(医療機関での検査分を含む) ・陽性者数/PCR等検査件数
	④新規報告数 (直近1週間の人口10万人当たりの感 染者数)	3.7人	15人以上	25人以上	・9月22日から9月28日まで
	⑤感染経路不明割合	27.6%	50%以上	50%以上	・9月18日から9月24日まで

ステージ1	感染散発段階	感染者が散発的に発生
ステージ2	感染漸増段階	感染者が徐々に増加 医療提供体制への負荷が蓄積
ステージ3	感染急増段階	感染者数が急増 医療提供体制に支障
ステージ4	感染爆発段階	爆発的な感染拡大が起き 医療提供体制が機能不全に

※ 入院率の指標は人口10万人当たりの療養者数が10人以上の場合に適用  
※ 入院が必要な陽性者が発生届の翌日までに入院している場合は適用しない

## 感染状況等の分析（まとめ）

- ① 県独自の「緊急事態宣言」の発令や国の「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、人流が大幅に減少したこと等により、新規感染者は大きく減少し、医療提供体制への負荷も軽減され、県内の感染状況は、ステージ2の段階まで改善
- ② しかし、県内では引き続き宮崎市を中心に新規感染者が確認されるとともに、全国的にも、十分に沈静化している状況には至っていない。また、今後、シルバーウィークの連休の影響が現れてくる可能性にも留意が必要
- ③ 県民の日常生活や地域経済への影響を考慮しつつ、感染再拡大を防ぐため、10月1日以降は、段階的な行動制限の緩和を図りつつ、一定の行動制限を要請し、感染防止対策を徹底していくことが必要